# デバイスを利用したデータ計測 iPhone加速度センサーを利用した 身体動揺の計測

聖稜リハビリテーション病院 内藤祐馬

# リハビリで使われる運動・動作の評価指標

## 病院で実施可能なバランステスト

- BBS (Berg Balance Scale)
- FR (Fanctional Reach)
- •10m歩行テスト
- TUG(Time Up & Go)
- ・静的バランステスト (片脚立位、タンデム立位、マン姿位)



課題の可不可・速度・時間

## 研究で使用される指標

- •フォースプレート(床反力計)
- •下肢荷重足底(足圧計)
- •三次元動作解析



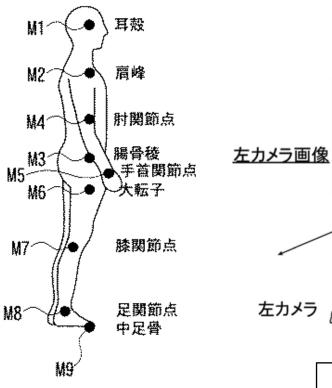
動作時の力学的指標 (専用機器が必要)

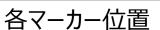
動作の実行状況を分析する事で性質や特徴の分析が可能

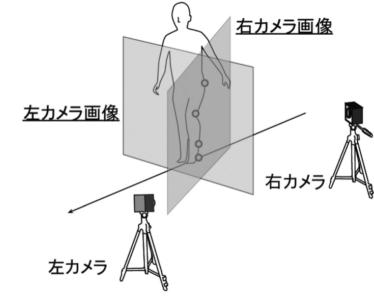
# これまでの力学的データを計測する工夫

動画解析による<mark>関節角度</mark>の計測 (矢状面・前額面上の2次元解析)

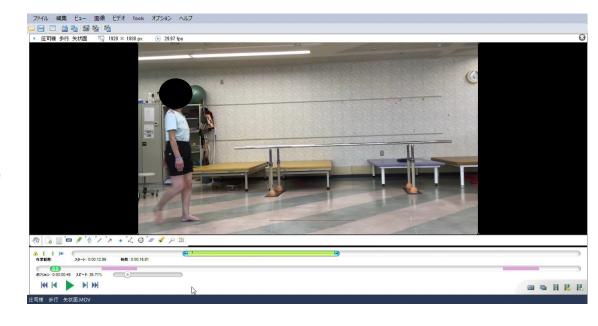
歩行動画の撮影





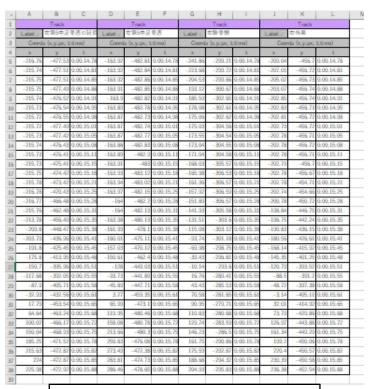


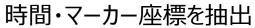
矢状面・前額面に カメラを設置



Kinoveaによる動画分析

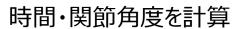
# 動画分析による動作中の関節角度の計測



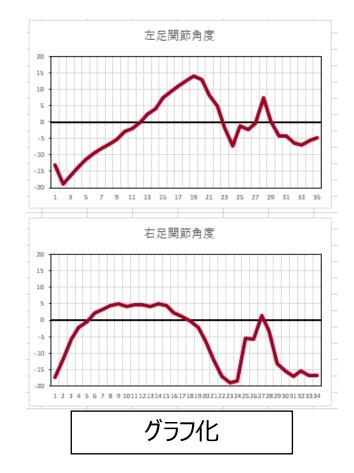




	母直線	母直線	平行線	平行線	足国節角度
	1.78	101.77	-0.10	-5.71	-17
	1.68	96.06	-0.10	-5.87	-11.93
	1.57	89.82	-0.10	-5.80	-5.71
	1.51	86.35	-0.10	-5.90	-2.26
	1.46	83.61	-0.12	-6.93	-0.54
	1.41	80.88	-0.12	-6.86	2.26
	1.30	79.79	-0.12	-6.80	3.41
	1.30	79.66	-0.10	-5.78	4.56
	1.38	79.13	-0.10	-5.89	4.98
	1.38	78.94	-0.12	-7.64	4.02
	1.37	78.22	-0.12	-7.14	4.65
	1.34	77.05	-0.15	-8.33	4.62
	1.33	76.23	-0.17	-9.53	4.24
	1.30	74.59	-0.18	-10.49	4.91
	1.28	73.16	-0.22	-12.51	4.33
	1.24	71.27	-0.29	-16.50	2.15
	1.19	68.04	-0.36	-20.79	1.17
	1.13	64.80	-0.44	-25.30	-0.19
	1.05	60.34	-0.55	-31.79	-2.13
	0.97	55.31	-0.72	-41.07	-6.38
	0.87	50.05	-0.91	-52.10	-12.15
	0.78	44.60	-1.00	-62.53	-17.13
	0.73	42.08	-1.17	-66.84	-18.92
	0.77	44.04	-1.12	-64.33	-18.37
	0.88	50.52	-0.79	-44.99	-5.51
	1.03	59.16	-0.64	-36.50	-5.66
	1.16	66.45	-0.30	-22.00	1.47
	1.33	76.06	-0.30	-17.29	-3.35
	1.55	89.01	-0.25	-14.12	-13.13
	1.66	95.30	-0.18	-10.13	-15.44
	1.80	103.24	-0.07	-3.98	-17.22
	1.85	105.86	0.01	0.44	-15.43
	1.83	104.95	-0.03	-1.78	-16.73
	1.77	101.35	-0.00	-5.41	-16.76
_					







## この患者さんの重心動揺を計測したい

くも膜下出血後の前庭機能低下に対し 感覚入力に着目した介入を行い、

聖稜リハドリテーション病院 内藤祐馬

#### 介入内容

自宅退院に至った症例

課題の設定

#### 姿勢条件

- 座位
- 寸位
- タンデム姿位

R2年静岡県理学療法士学術大会にて 症例発表を行う。

異なる条件下での姿勢保持能力の変化を 治療効果の判定に使用

課題の可不可と保持時間を指標としたが・・・

#### 足底条件

- 柔らかい床面

視覚条件

- 追視(ボールキャッチ)

姿勢条件



本当は自作したiPhoneアプリで測定した 身体動揺の変化を結果として提示したかった・・・

# デバイスセンサーとバランス測定

加速度センサーを使用した研究

どうやらスマホで計測している

スマートフォンなどの加速度センサーを利用した身体バランス計測器の開発 ~その経緯と妥当性の検証~

木野田 典保

小型三軸加速度計による高齢者の動的バランス評価の有用性

竹内 弥彦弘

小型 3 軸加速度計を用いた Timed Up and Go Test における動作の円滑性の検討 彦坂 潤



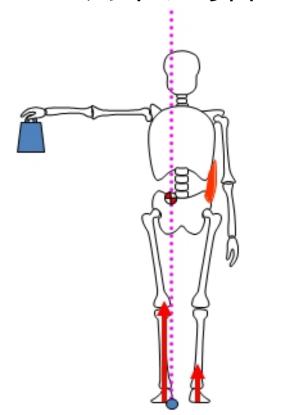
加速度センサーがあれば身体動揺が計測できる?

- ·加速度
- •重心
- ・モーメント
- ·床反力

# バランスを力学的視点で考える

#### 剛体のつり合い

- 力のつり合い
- モーメントのつり合い



## 力のつり合い

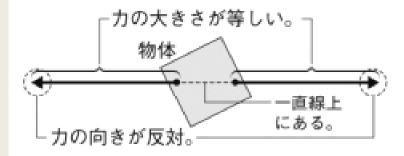
### 【2力のつり合い】

1つの物体に2つの力が はたらいていて、その物体 が静止したままであるとき、 2つの力はつり合っている という。

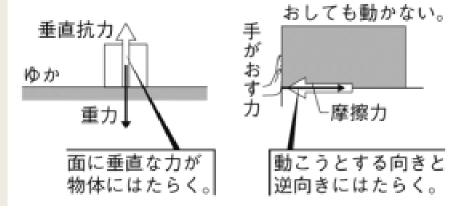
#### 【2力がつり合う条件】

- 力の大きさが等しい。
- 力の向きが反対。
- 一直線上にある。

#### 2つの力のつり合い



#### つり合う2カ



# バランスを力学的視点で考える

### 剛体のつり合い

・力のつり合い

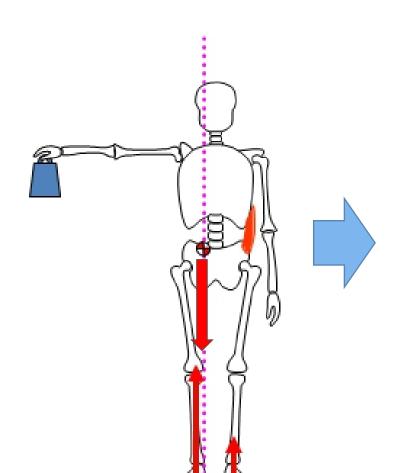
モーメント(回転力)のつり合い

・モーメントのつり合い
カのモーメントを与えれば回転しない!
5[m] 20[m] 20[m]

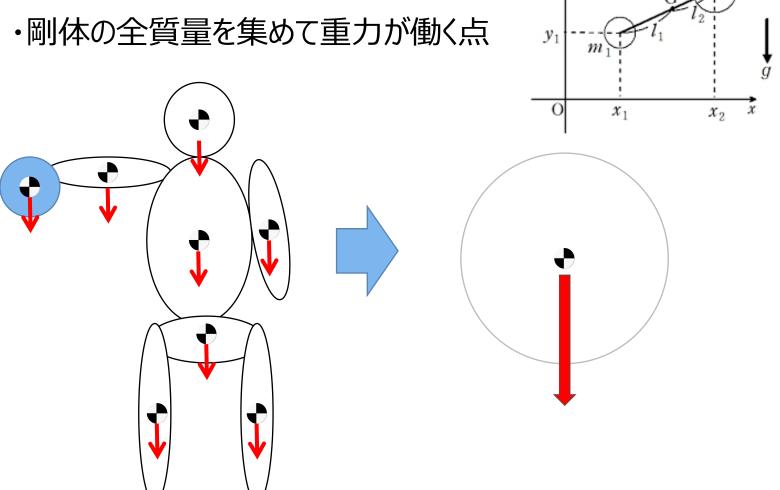
支点

# バランスを力学的視点で考える

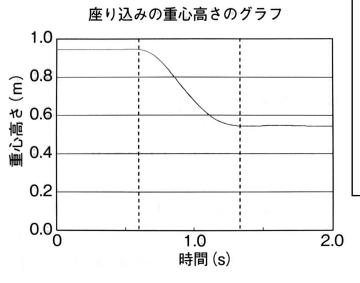
重心の性質



・剛体を傾くことなく支える事のできる点



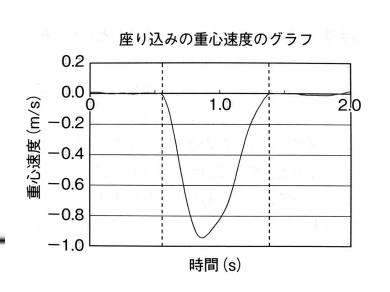
# 重心と加速度



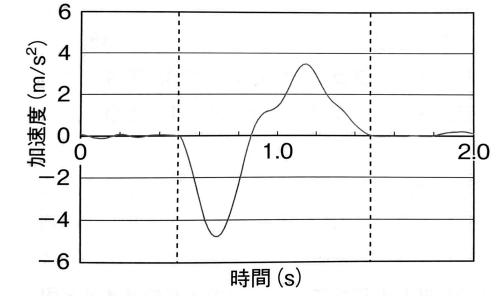
位置の時間あたりの変化量=速度(距離/時間) 速度の時間あたりの変化量=加速度(速度/時間)

グラフの傾き=微分 グラフの面積=積分





0



# 加速度センサーの作製

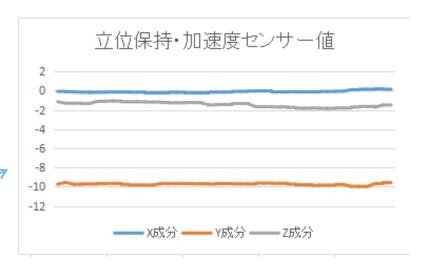


加速度センサ-

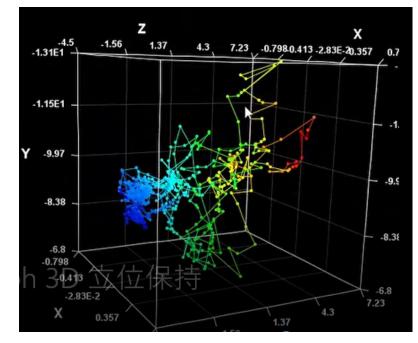
# 加速度センサーによる計測

$\Delta$	А	В	С	D	E	F	G
1	time(sec)	х	У	Z	alpha	beta	gamma
2	0.01	0.308704	-9.78786	-1.55059	183.5834	78.9492	-2.23251
3	0.13	0.085745	-9.57912	-1.81111	185.3786	78.90449	-3.76907
4	0.15	0.137221	-9.67399	-1.81246	185.6113	78.90346	-3.96806
5	0.16	0.158619	-9.69284	-1.81335	186.0388	78.87136	-4.3246
6	0.17	0.113279	-9.66816	-1.86692	186.4217	78.84225	-4.65406
7	0.18	0.113279	-9.66816	-1.86692	186.4217	78.84225	-4.65406
8	0.19	0.103104	-9.65948	-1.87949	186.7367	78.82321	-4.90034
9	0.2	-0.01691	-9.64931	-1.88203	187.2877	78.79625	-5.36464
10	0.22	-0.01691	-9.64931	-1.88203	187.2877	78.79625	-5.36464
11	0.23	0.005691	-9.63075	-1.92228	187.7784	78.7736	-5.85641
12	0.24	0.045794	-9.57868	-1.94727	188.2011	78.77086	-6.30642
13	0.25	0.045794	-9.57868	-1.94727	188.2011	78.77086	-6.30642
14	0.26	0.019608	-9.61115	-1.8114	188.7632	78.74755	-6.86712
15	0.27	-0.11118	-9.66083	-1.72505	189.4401	78.68123	-7.50909
16	0.28	-0.11118	-9.66083	-1.72505	189.4401	78.68123	-7.50909
	2 22	0.04707	0.01004	4 77000	400 0040	70.00105	7 00074

検出されたX,Y.Z成分のCSVデータ



2Dグラフ、3Dグラフ化



次回 実際の身体動揺計測